

## 『英琉辞書』の表記法

高橋 俊 三

ここでいう『英琉辞書』は、B. J. ベッテルハイムが1851年に著わしたものである。現在その自筆稿本が、大英図書館に保存されているが、まだ、出版はされていない。<sup>(1)</sup>

本稿は、ベッテルハイムが、『英琉辞書』で、琉球方言をどのように表記しようとしたかということを明らかにするのが目的である。『英琉辞書』で窺い知ることのできる、当時の音韻については、別稿で詳しく取り扱うことにする。

まず、ベッテルハイム自身が、琉球方言の表記法について、『琉球語と日本語の文法の要綱』<sup>(2)</sup>（以下『要綱』と略記する。）「日本語の文字について」の項で述べているので、次に紹介する。<sup>(3)</sup>

私は、日本語音を表記する際、ヨーロッパの文字（アルファベット）を用いていることも述べておかねばならない。私の用い方は、現在中国で活躍中の友人達の用い方と同様に、ラテン語（Romana）、または、ドイツ語（German）の音価に従っている。

また、補助符号について、次のように述べている。

母音の上に付されて横線《<sup>ˉ</sup>》はその母音を長く延ばし、半円《<sup>˘</sup>》は短くし、横線2本または、半円2個は、それぞれの効果が2倍になることを表わす。横線1本と半円1個《<sup>ˉ˘</sup>》は、音節が短くて、強勢のあることを表わす。鋭音記号《<sup>ˆ</sup>》は開母音を表わし、抑音記号《<sup>ˋ</sup>》は閉母音を表わす。例えば、ó は flock のように短く、そして開いた音を表わし、ò は lose の o（のようにすぼめた音）を表わす。母音上の2個の点は外見上の2重母音を（2個の母音に）分け、その点の付された母音を短くすることを表わす。例えば、ndjiiung. y の前の i は（i は' と略記され）'y とされる場合もあるが、'm・'mm・'n におけるアポストロフィ《'》と同じく、非常に弱いが、かすかに知覚される喉音を表わす。ヘブライ語の Aleph を shua で発音したり、アラビア語の alpha を vasla で発音する人は、この発音を上手にまねることができるであろう。

(1) 原題は、English-Loochooan Dictionary である。土井忠生著「ベッテルハイムの琉球方言に関する著述」（『国語史論攷』1971年）に詳しく紹介されている。

(2) 原題は、Elements or Contributions towards a Loochooan and Japanese Grammar (1849年) である。

(3) 引用は、喜名朝昭・伊波和正・森 庸夫・高橋俊三訳「ベッテルハイム著『琉球語と日本語の文法の要綱』」（『南島文化』第2～5号 1980～1984年）の翻訳による。以下同様。

ここでは、鋭音記号´は開母音を表わすとあるが、『英琉辞書』でéあるいはóの例をみると、音韻の機能としては、開母音ということとともに、あるいは、より以上に長母音ということに意味があると考えられる。

なお、ベッテルハイム自身は述べていないが、*ûüyadjinyi* (公に。generally の項)、*hîā* (奴。fellow の項) のように、<sup>^</sup>という記号も使っている。これは1音節であるということを表わしているようである。

以下に、『英琉辞書』の字母とその音価について、アルファベット順に述べていく。(補助符号は、<sup>˘</sup>と<sup>˙</sup>と<sup>˚</sup>と<sup>˛</sup>のみを表記し、他は必要に応じて表記するにとどめる。) 表の部分は、字母、その例、推定音価 (以下特別の断わり書きがない場合は筆者の推定音を表わす。)、意味、所在の順である。(首里方言は『沖縄語辞典』<sup>(5)</sup>により、その音韻記号は音声記号に改めた。)

### (1) a

『要綱』に「a は、are の a のように発音する」ことが述べてある。

〈字母〉	〈例〉	〈音価〉	〈意味〉	〈所在〉
a	ami	[?ami]	雨	rain

### (2) b

ba	bakimung	[bakimun]	化物	monster
be	bé	[be:]	倍	double
bi	bing	[bin]	紅色	lake
bîā	abîā	[?abija:]	おしゃべり	clack
bîu	ukabîung	[?ukabijun]	浮かべる	buoy
bo	bó	[bo:]	棒	club
bu	buri	[buri:]	無礼	discourteous
bya	byákudáng	[bjakudan]	白檀	sandalwood
byo	byótchi	[bjo:tʃi]	病気	disease
byu	byú	[bju:]	廟	temple
bb-	ibbi	[?ibi]	海老	lobster

① bîā は、他に aʃibîā (遊び人。対応形「遊びや」。首里方言 [ʔasibja:]。amusement の項)、shirábîā (調べ人。対応形「調べあ」。首里方言不明。herbalist の項)、aʃibîāgatchi (遊びながら。対応形不明。saunter の項)、hanabîāka (派手な。「花びやか」に対応。gay の項)、bîākunu ki (いとすぎ。bîaku は「柏」の漢音か、未詳。cypress の項) などがある。bîā は、[bija] や、[bja] を表記していると考えられる。

(4) 音声記号の [ŋ] と [N] とは、ともに [N] で表わす。

(5) 国立国語研究所編、大蔵省印刷局発行、1961年。

② **bü** は、もっぱら動詞の活用語尾に、次のように出て来る。

○二段動詞対応語（首里方言では語尾が [bijun] である）の場合

- (a) 語尾が **-biung** のみで表記されているもの…**kaßabiung**（重べる。aggregate の項）、**narabiung**（並べる。contact の項）、**nubiung**（伸びる。grow の項）など。
- (b) 語尾が **-biung**、と **-büung** で表記されているもの…**abiung**（叫ぶ。bellow, bray の項）と **abiung**（叫ぶ。call の項）、**kunabiung**（比べる。contact の項）と **kunabiung**（比べる。collate の項）、**nubiung**（延べる。cheerful, put の項）と **nubiung**（延べる。bend, defer の項）。
- (c) 語尾が **-büung** のみで表記されているもの…**nubiung**（述べる。narrate, preach, relate の項）、**shirabiung**（調べる。chasten の項）。

○四段動詞対応語（首里方言では語尾が [bjun] である）の場合

- (a) 語尾が **-biung** と **-büung** で表記されているもの…**aßibiung**（遊ぶ。abroad の項）と **aßibiung**（遊ぶ。amuse, play の項）、**kakubiung**（囲む。defend の項）と **kakubiung**（囲む。preserve の項）、**shinubiung**（忍ぶ。bear の項）と **shinubiung**（忍ぶ。brook の項）、**yirabiung**（選ぶ。choose の項）と **yirabiung**（選ぶ。cull の項）。
- (b) 語尾が **-büung** で表記されているもの…**fakubiuru**（運ぶ。salt の項）、**furubiung**（滅ぶ。perish の項）、**marubiung**（丸ぶ。round）、**mutabiung**（もてあそぶ。handle の項）、**ubiung**（覚える。rember, note の項）、**tubiung**（飛ぶ。dart の項）。
- (c) 語尾が **-büung** と **-byung** で表記されているもの…**mußubiung**（結ぶ。link, tie の項）と **mußubyung**（結ぶ。kont の項）、**uyubiung**（及ぶ。inolve の項）と **uyubyung**（及ぶ。tend の項）、**manabiung**（学ぶ。learn の項）と **manabyung**（学ぶ。devote の項）。
- (d) 語尾が **-byung** のみで表記されているもの…**yubyung**（呼ぶ。call, compellation の項）。

以上のことから、二段動詞対応語は **-biung** と **-büung** に、四段動詞対応語は **-byung** になりつつある音を写していたかと思われる。

③ **bio** の表記例は見当たらないようである。

④ **bb** は音韻的には **b** と同じようである。ただし、**sabbu ichi**（3分の1。third の項）の **sabbu** は /saNbu/ の可能性もあろう。

### (3) c

ca	cappa	[kappa]	合羽	cloak
ch'	ch'kushó	[tʃikuʃo:]	畜生	stupid
cha	cha	[tʃa:]	茶	tea
chi	chi	[tʃi:]	血	blood
chĩ	faku chĩó	[ʔakutʃo:]	白鳥	swan
cho	chódé	[tʃo:de:]	兄弟	brother
chu	chuí	[tʃui]	一人	man

ck-	wickiga	[wikiga]	男	boy
ckk-	ickka	[?ikka]	幾日	long
ckv-	mickvassa	[mikkwasa]	憎らしい	abominate
ckw-	fuckwiung	[?ukkwijun]	ふくれる	bloat
co	tábăcô	[tabaku]	煙草	tobaco

① ca は、他に căssitîră (カステラ。custard の項)、catcha (蚊帳。riddle の項) の例がある程度で、ごく稀である。ka と発音の相違はないと思われる。

② ch' は、他に ch'ké (誓い。swear の項)、ch'shanna (レタス。ちしゃ菜に対応。lettuce の項)、ch'tsidan (決断。Chinese Derivatives の章)、nan ch'ku (南極。pole の項)、wun ch'ku (音曲。opera の項)、ch'kushi (勅使。envoy の項) などの例がある。また、' を省略して、chkata (地方。region の項) のように、ch とのみ表記したものもある。これらは、k、sh、ts の音に上接する時に出て来ているので、chi や chu の i や u の無声音、あるいは、脱落を表記したものと考えられる。しかし、k、sh、ts に上接する時でも、chitsidanu (決断。decision の項) や、chikara (力。force の項) のように、i を表記している例もある。

③ chī は他に chīā (着る物。morning gown の項) のように、[tʃij] を写したものもある。

④ ck は他に、ícká (幾日。首里方言 [?ikka]。how many の項)、icka (烏賊。首里方言 [?ika]。cuttlefish の項)、ickī (行け。首里方言 [?iki]。begone の項)、ti-zickūng (拳骨。首里方言 [ti:ʒikun]。box の項)、acku (悪。首里方言 [?aku]。in の項) などがある。ck は [kk] を表わしている場合もあるが、そうでない場合が多い。

⑤ ckk は、他に naga mackkwa (長い枕。[nagamakkwa]。bolster の項)、súckkvéchóng (当惑している。[sukkwetʃo:N]。perplex の項) などがある。[kk] を表わしている。

⑥ ckw は、他に máckwa (枕。首里方言 [makkwa]。pillow の項) がある。

⑦ co は、英語の見出しの tobacco にひかれたものか。

#### (4) d

『要綱』に「d・l・r は、琉球人の発音では交替が可能である。しかし、いくつかの単語においては、これら 3 個の音のどれかが強固に保たれている。」とある。また、Ch. の d の章で、l や r と比較するように述べられている。

da	daki	[daki]	竹	bamboo
de	dé	[de:]	代	cost
di	dishi	[difi]	弟子	pupil
dī	dīū	[dju:]	龍	Ch.

(6)『英琉辞書』の末尾に付録として、琉球語に入った漢語が集められているもの。以後 Ch. と略記する。  
訳は、伊波和正著「ベッテルハイム『英琉辞書』:漢語」を参考にした。以下同様。

do	dógu	[do:gu]	道具	instrument
du	duru	[duru]	泥	mud
dd-	addiga	[ʔadiga]	彼が	under
dd-	dúddu	[duddu]	ドッと(擬音)	vibrate

① 龍は liu と表記されている。

② dd は、/qd/を表わしている場合と、表わしていない場合がある。

### (5) dj/dy/dz

① dj については、『要綱』に「j は英語の j のように発音する。その音を強める場合、しばしば dj と表記する。」とある。また、dz と z は同じ音韻である。

dja	djama	[dʒama]	邪魔	devil
dje	tudje	[tuʒe:]	妻は	widower
dji	djī	[dʒi:]	字	letter
djī	djīung	[sidʒijung]	過ぎる	pass
djī	ndjīung	[ndʒijun]	出る	originate
djo	djónó	[dʒo:no:]	上納	tax
dju	djū	[dʒu:]	十	ten
dya	yandyā	[jandʒa:]	奔放な子	wild
dyu	yandyung	[jandʒun]	破る	handle
dza	dza	[dʒa:]	座	chamber
dze	dze mutzi	[dʒe:mutsi]	財物	acquire
dzi	dziru	[dʒiru]	どれ	whitch
dzo	dzófu	[dʒo:hu]	臓腑	tripe
dzu	dzú	[dʒu:]	尾	tail

① sprout の項で「出る」が djīung と、djiung と表記されているように、i が i と略記されることがある。

② dya はごく稀な例である。[jandʒa:] を写したのであろうか。[jandʒi] (壊すの連用形) に、接尾辞「や」が付いた形に対応するのであろうか、あるいは「かいらいし」を意味する「京太郎」であらうか。

③ dyu もごく稀な例であるが、crush の項にも yandyung がある。また、spoil の項に「自動詞 yandiung」とあり、「他動詞 yandyung」とある。

④ dzi は、他に dzing (銭。[dzin]。money の項)、dzīshi (厨子。[dziʃi]。ark の項) などがある。

### (6) e

『要綱』に「e は、else の e のように発音する」と述べている。

e	makié	[makie:]	負けるのは	though
ë	mië	[mie:]	見るのは	unseen

① 語中の e は、他に kae (助詞「に」。首里方言 [kai]。aback の項)、shae (助詞「で」。首里方言 [sa:i]。by の項) などがある。ちなみに、語頭の e は現在のところ、見当たらない。(we、ye 参照。)

### (7) f/fh

『要綱』に「d・l・r は、琉球人の発音では交替が可能である。しかし、いくつかの単語においては、これら 3 個の音のどれかが強固に保たれている。相互に交替が可能な h と f についても同じことが言える。」とある。

f	fsha	[ʔiʃa]	足	afoot
fa	fa	[ʔa:]	葉	leaf
fe	fé	[ʔe:]	蠅	fly
fha	fhadjimi	[ʔadzimi]	初め	beginning
fhī	fhīāu	[ʔa:u]	票	money
fho	fhó	[ʔo:]	法	rule
fhu	fhu	[ʔu:]	穂	rice
fi	fi	[ʔi:]	火	fire
fīo	fīóchagu	[ʔo:tʃagu]	爆竹の一種	fire crackers
fī	fīū	[ʔiju:]	日傭	hireling
fo	fóbi	[ʔo:bi]	褒美	premium
fu	fū	[ʔu:]	幸運	happiness
ff-	uffusang	[ʔuʔusan]	多い	abound

① 直後に母音をともなわない (以下「単独」と用いる) f は、この他に fshīnchung (押し込む。首里方言 [ʔiʃintʃun]。cram の項)、ftā́tā́bī (再び。首里方言 [ʔutatabi]。again の項)、ftu (人。首里方言 [ʔitu]。absentee の項)、ftsízi (未。首里方言 [ʔitsizi]。cycle の項) などの例がある。fi や fu の後に sh・t・ts などの無声子音が来て、i・u の母音が無声化、あるいは、脱落している。なお、fítsi (櫃。drawer の項) のように、i が表記されている例もある。

② fha・fho は、他に fhakaī (秤。admeasure の項)、fhadjimiýung (始める。begin の項)、fháni (羽。numerals の項)、'fho (兵。reinforce の項)、'fhó chaku (漂着。adrift の項)、fhó-li (表裏。reverse の項)、fhótchagva (打ち上げ花火。rocket の項) などがある。[f] でも [h] でもない音、すなわち、[ʔ] の音を表記したものと考えられる。

③ fhī は、他に fhīu-lin-na (ハウレンソウ。「菠薐菜」に対応する。spinage の項) がある。実際の発音は [ç] であろうか。

④ fīo は、他に fīóbang (評判。首里方言 [ʔo:ban]。interline の項)、fīó (兵。garrison

の項)の例がある。

⑤ *fīu* は、他に *yufiung* (身請けする。首里方言 [ju $\Phi$ ijun]。redeem の項)、*fīung* (経る。首里方言 [ $\Phi$ ijun]。process の項)の例がある。

⑥ *fo* の例は、他に *fómari* (誉れ。対応する首里方言なし。fame の項。famous の項では *fomari* とある)、*fomiung* (誉める。首里方言 [humijun]。applaud の項)、*fóso* (疱瘡。対応する首里方言なし。歴史仮名遣い「はうさう」。Ch.の項)、*uffóku* (多く。首里方言 [ʔuho:ku]。many の項)などの例がある。「褒美」の首里方言は、[hu:bi] であるし、歴史的仮名遣いも「ほうび」なので *fūbi* という表記が期待されるところであるのに、*fōbi* となっていて、問題となる。*fom* または *fob* の場合の *fo* は、*fu* になるのが遅かったと解釈すべきか、[fu] の音に近似していたとみなすべきか不明である。

⑦ *ff-* は、他に *iffé* (少しは。首里方言 [ʔi $\Phi$ e:]。pause の項)、*uffóku* (たくさん。[ʔu $\Phi$ o:ku]。many の項)、*úffusang* (多い。首里方言 [ʔu $\Phi$ usan]。many の項)などがある。音韻的には *f* と同じと考えられる。

(8) *g*

<i>ga</i>	<i>gānā</i>	[ga:na:]	鶯鳥	<i>goose</i>
<i>ge</i>	<i>gé</i>	[ge:]	害	<i>harm</i>
<i>gi</i>	<i>gita</i>	[gita]	下駄	<i>sandals</i>
<i>go</i>	<i>góya</i>	[go:ja]	苦瓜	<i>bringal</i>
<i>gu</i>	<i>gudjira</i>	[guʒira]	鯨	<i>whale</i>
<i>gva</i>	<i>gvansu</i>	[gwansu]	元祖	<i>ancestor</i>
<i>gve</i>	<i>gvéshtchi</i>	[gwe:ʃitʃi]	外戚	<i>maternal</i>
<i>gvi</i>	<i>ufu gví</i>	[ʔuhugwi:]	大声	<i>loud</i>
<i>gvī</i>	<i>míngvīung</i>	[míngwíjun]	巡る	<i>dizzines</i>
<i>gwa</i>	<i>gwansū</i>	[gwansu]	元祖	<i>Ch.</i>
<i>gwe</i>	<i>gvéguku</i>	[gwe:guku]	外国	<i>foreigner</i>
<i>gwi</i>	<i>ufugwi</i>	[uhugwi:]	大声	<i>bellow</i>
<i>gg-</i>	<i>zung gwé</i>	[zungwe:]	存外	<i>accident</i>

①「元祖」の例からして *gv* と *gw* は同じ音を表わしていることが分かる。他に、首里方言の [gwengwen] (ぬかるみのさま) を *gvéng gvéng* (muddy の項) とともに *gwéng-gwéng* (flounder の項) とともに表記している。

② *gg* で /qg/ を表記した例は見当たらないようである。

③『要綱』の「イロハとその発音」の所に、仮名のグの発音は *gvu* と書いてあるが、『辞書』にはその表記は見当たらない。

(9) *h*

Ch. の h の項に、「h=f=p」とあり、「半」には hfan, han、「方」と「法」には h6, f6, p6 のように、「評判」には h6 (fi6) のように、同じ漢字に 2 つ以上の読みを記載している。

h'	h'n	[ʔn]	ふん(感動詞)	eh!
h'	ah'	[ʔahʔ]	ああ(感動詞)	staff
ha	hā	[ha:]	歯	tooth
hfa	hfan	[ʔan]	半分	half
hī	hīaku	[ʔaku]	百	unit
ho	h6tu	[ho:tu]	鳩	pigeon
'ho	'h6	[ho:]	法	law
ho	h6	[ho:tu]	鳩	dove
hya	hyā	[ʔa:]	野郎	villain
hh-	hh6	[ho:]	兵	Ch.

① n の前の h は [n] の無声音を表わしているのであろう。

② 母音の後の h は、他に oh (はい。[ʔo:]). yea の項) がある。呼気のある長音を表わしているのであろう。

③ hī の例は、他に hīa (銃。首里方言 [ʔa:]). fire の項)、hīaka (百家。read の項)、hīagā (車輪。首里方言 [ʔa:ga:]). wheel の項)、hīuratchi (頭のとっぺん。首里方言 [ʔu:rutʃi]). top の項) などがある。

④ hh- は摩擦音の強いことを表わそうとしたものと考えられる。しかし、音韻的には /h/ であろう。

#### (10) i

『要綱』に「i は in の i のように発音する」とある。子音を伴わない i はもっぱら語頭で用いられている。ただし、ベッテルハイムは、漢語の熟語は分かち書きをして、別語扱いをしているので、その場合は、mang ichi (万一。Ch. の章) のように、語中にも現われる。

i	ing	[ʔin]	犬	dog
in	in	[ʔi:]	はい	yes

① i の例は、その他、īy6na (異様な。[ʔijo:na]). monster の項) のような表記もある。(i 参照。)

② in は yes の項に「i (some say in)」と記載されているものである。『沖縄語辞典』の ʔii の項目に「(普通、鼻音化して発音する。[ʔii] 鼻音化しないとぞんざいに聞こえる) はい。そう。ああ。」とあるのと照応する。

#### (11) I

『要綱』に「(母音上の) 2 個の点は外見上の 2 重母音を (2 個の母音に分け)、その点の付された母音を短くすることを表わす。例えば ndjiung. y の前の ī は (ī は' と略記され) 'y と



表記される場合もあるが、'm・'mm・'nにおけるアポストロフィ（'）と同じく、非常に弱いが、かすかに知覚される喉音を表わす。」とある。

ĩ	naĩ	[nai]	果実	fruit
ĩa	ĩã	[?ija]	後産	afterbirth
ĩe	ĩšhtchi	[?ije:ʃitʃi]	卑しき	dabbler
ĩu	ĩũ	[?iju]	魚	fish
ĩyã	ĩyã	[?ja:]	汝	thee
ĩye	ĩye	[?je:]	間	wait
ĩyu	ĩyung	[?jun]	言う	say

① 母音の後にĩが来る例は、他にhaĩ(針。[hai]。needleの項)、feiyame(はやり病。[ʔe:ijame:]。infectionの項)、shĩĩdunsé(しでもしたら。desireの項)、tskoĩyó(作りよう。[tsukoijo:]。madeの項)、muĩ(森。[mui]。hillの項)、ĩkaĩ~(私は行こうね。[?ikai:]。goodの項)、imminentの項)、wĩĩ(酔い。soberの項)などがある。母音音節の[i]を表わしている。

② 母音の前にĩが来る例は、他にĩã(矢。「射矢」に対応。[?ija]。arrowの項)、ĩã(射手。「射や」に対応。[?ija:]。bow-manの項)、ĩũng(入る。[?ijun]。comprizedの項)、ĩũũ(いよいよ。[?iju?iju]。aggravateの項)などがある。母音の前のĩは、基本的には[?ij]を表わしている。

③ 半母音yの後にĩが来る例は、他にiyãng(言わない。首里方言[?jan]。sayの項)、iyassang(言わせない。首里方言[?ja:san]。mouthの項)、ĩyashtchĩ(卑しき。首里方言[?ja:ʃitʃi]。meanの項。なお、forgetの項ではĩyeshtchiとある)、iyé(言え。首里方言[?je:]。reasonの項。なお、saidの項ではiyeとある)などがあり、iyは、基本的には[?j]を表わしている。しかし、ĩyũng(射る。首里方言[?ijun]。bowの項。なお、shootの項ではĩũngとある)のような例外もある。

## (12) j

『要綱』に「jは英語のjのように発音する。その音を強める場合、しばしばdjと表記する。」とある。(djの項参照。)

ja	jasu	[dʒasu]	イエス	Christian
ji	jindó	[dʒindo:]	人道	Ch.
jũ	jũĩ	[dʒui]	御意	imperial

① jの表記はごく稀である。jasuはyasuと書いた例(Christmassの項)もある。jasuは元の音を写したのであろうか。

## (13) k

k	kfáku	[kuʔaku]	固く	hard
---	-------	----------	----	------

ka	kā	[ka:]	皮	hide
ke	ké	[ke:]	匙	spoon
ki	kī	[ki:]	毛	wool
kī	akīung	[ʔakijun]	開ける	open
ko	kó	[ko:]	線香	incense
ku	kū	[ku:]	粉	powder
kk-	jŭkka	[jukka]	四日	day
kk-	īkkāi	[ʔikai]	錨	anchor

① 単独の k は、上記の例のほか、kfaku (琥珀、[kuʔaku]。amber の項)、kfū (工夫、[kuʔu]。work の項) のように、[ku] の母音の無声化したものを写している例と、kfachū (火急、[kwatʃu:]。exigence の項)、kfáchi (火気、[kwatʃi]。valcano の項) のように、[kw] の音を写している例と、kfurasang (暗い。首里方言 [kurasan]。gloomy の項) のように、[k] の呼気の強い音を写している例がある。なお、Ch. の項に kf は kw を参照するように記されている。

② kk は /qk/ を表わしている場合が多いが、そうでない場合もある。

#### (14) kv, kw

kva	kvāshi	[kwa:ʃi]	菓子	cake
kve	kvémung	[kwe:mun]	食べ物	aliment
kvi	kvi	[kwi:]	声	tone
kvī	kvīun	[kwiju:N]	呉れる	conditional
kvu	kvūku	[ku:ku]	少し	increase
kwa	kwan	[kwan]	官	Ch.
kwe	kwé	[kwe:]	肥え	manure
kwi	kwi	[kwi:]	声	voice
kwī	kwīung	[kwiju:N]	呉れる	leave
kwu	kwūku	[ku:ku]	少なく	decrease
kkv-	īkkvé	[ʔikkwe:]	1 回	days
kkw-	ikkwé	[ʔikkwe:]	1 回	once

① kv と kw は同じ音を表わしている。

② kvu, kwu はごく稀である。

③ 「呉れる」は kviung の表記 (give の項) もある。これからすると、ī は i と表記されることもあるようである。

④ kkv-, kkw- は、他に fúkkwi (膨れ。[fukkwī]。once の項) などがある。/qkw/ を表わしている。

## (15) l

『要綱』に「d・l・r は、琉球人の発音では交替が可能である。しかし、いくつかの単語においては、これら3個の音のどれかが強固に保たれている。」とある。

la	lankan	[rankan]	欄干	railing
le	lé litchi	[re:ritʃi]	来歴	Ch.
li	lī-dji	[ri:dʒi]	礼儀	formality
lī	liu	[rju:]	龍	dragon
lo	ló nyin	[ro:nin]	兩人	both
lu	lūssī	[lusi]	留守	abroad
ll	ollanda	[ʔoranda]	オランダ人	dutchman

- ① Ch.の「牢」の項に、「lū (dū, rū)」とある。
- ② līは、他に dūlió(同僚。[du:rjo:]). fellow の項) などがある。
- ③ lo は、他に lósi(老衰。weakの項)、chin ló(検量。measureの項) などがある。
- ④ ollanda は、まだ熟していない単語であろう。いろいろ問題がある。

## (16) m

m	mpá	[mpa]	いやだ	will
'm	'mma	[ʔmma]	馬	horse
ma	máda	[ma:da]	まだ	yet
me	mé	[me:]	前	fore
mi	mimi	[mimi]	耳	ear
mī	mīǎku	[mijaku]	都	capital
mo	mó	[mo:]	野原	meadow
mu	múmu	[mumu]	腿	thigh
mya	mya	[mja:]	中庭	yard
myo	myódjī	[mjo:dʒi]	名字	name
myu	myūna	[mju:na]	妙な	excellent

①『要綱』に「'm・'mm・'nにおけるアポスロロフィ'は、非常に弱いが、かすかに知覚される喉音を表わす」といった旨のことが述べてある。しかし、喉音の有無の区別は、次のように、十分とはいえないようである。

- (a) ベッテルハイムがmと表記していて、首里方言が[m]の例は、上記以外に mba(いや。首里方言 [mba]). axiom の項) がある。
- (b) ベッテルハイムが'mと表記していて、首里方言が[m]の例は、見当たらないようである。
- (c) ベッテルハイムがmと表記していて、首里方言が[ʔm]の例は、mbayung(奪う。首里方言 [ʔmbajun]). deprive の項)、mbunyī(重荷。首里方言 [ʔmbuni:]). lade

の項)、mbúckwiung (浸水する。首里方言 [ʔmbukkwijun]。founder の項)、mbushung (蒸す。首里方言 [ʔmbufun]。stew の項)、mbushi (錨・おもし。首里方言 [ʔmbuji]。weight の項)、mbussang (重い。首里方言 [ʔmbusan]。weighty の項)、mma (馬。首里方言 [ʔmma]。back の項)、mma (午。首里方言 [ʔmma]。about の項)、mmari (生まれ。首里方言 [ʔmmari]。attribute の項)、mmé (祖母。首里方言 [ʔmme]。grandmother の項) などがある。

- (d) ベッテルハイムが 'm と表記していて、首里方言が [ʔm] の例は、上記以外に 'mma (馬。首里方言 [ʔmma]。hourse の項)、'mma (そこ。首里方言 [ʔmma]。regardless の項)、'mmu (芋。首里方言 [ʔmmu]。yam の項)、'mmari (生まれ。首里方言 [ʔmmari]。antipathy の項) などがある。

② mīは、他に mīātu (港。首里方言 [mja:tu]。harbour の項)、mīen yá (綿羊。[mjen-ja:]。fleece の項)、fhadjimijung (始める。[hadʒimijun]。commence の項。なお、同じ項に fhadjimiyung もある) などがある。

- ③ mīuru (見える。[mi:uru]。visible の項) は古い形であろうか。

(17) n

n	ncha	[ntʃa]	土	loam
'n	'ndju	[ndʒu]	下水溝	sewers
na	na	[na:]	名	name
ne	né	[ne:]	苗	seedling
ng	mung	[mun]	物	thing
ni	nī	[ni:]	根	root
nī	tazoniung	[tazunijun]	尋ねる	interrogate
no	nóyung	[no:jun]	治る	heal
now	nowku	[nauku]	直く	straight
nu	nū	[nu:]	何	what
nya	nya	[ɲa:]	もう	again
nye	yenye	[ʔe:ne:]	あるいは	suicide
nyi	nyī	[ɲi:]	荷	burden
nyī	nyīung	[ɲijun]	煮る	simmer
nyu	nyūng	[ɲu:N]	見る	look

①『要綱』に「'm・'mm・'nにおけるアボスロロフィ'は、非常に弱い、かすかに知覚される喉音を表わす」といった旨のことが述べてある。しかし、語頭の喉音の有無の区別は、次のように十分とはいえない。(m の項参照)

- (a) ベッテルハイムが単独の n と表記していて、首里方言が [n] の例は、nkashi (昔。首里方言 [nkaʃi]。ancient の項)、nkéyung (迎える。首里方言 [nke:jun]。seek の

項)、ndang (見ない。[ndan]。see の項)、ndiyung (濡れる。首里方言 [ndijun]。moisten の項)、ndza (奴。首里方言 [ndza]。slave の項)、ndzōsa (可愛い。首里方言 [ndzo:sa]。love の項)、ndju ndju (うんと強く。首里方言 [nd3u:nd3u:]。fast の項) などがある。

- (b) ベッテルハイムが 'n と表記していて、首里方言が [n] の例は、'nkazi (むかで。首里方言 [nkad3i]。centipede の項)、'ñnā (空。首里方言 [nna]。bare の項)、'nndji (とげ。首里方言 [nd3i]。thorn, fish の項)、'nni (胸。首里方言 [nni]。breast の項)、'nnya (皆。首里方言 [nna]。empire, extend の項)、'nni (棟。首里方言 [nni]。ridge の項) などがある。

- (c) ベッテルハイムが n と表記していて、首里方言が [ʔn] の例は、ndjang (行った。首里方言 [ʔnd3an]。gone の項)、ndjáshung (出す。首里方言 [ʔnd3aʃun]。exert の項)、ndjuchung (動く。首里方言 [ʔndäutʃun]。shake の項)、ndóng (臃んだ。首里方言 [ʔndo:N]。ripe の項) などがある。

- (d) ベッテルハイムが 'n と表記していて、首里方言が [ʔN] の例は、見当たらない。

② m や b や p などの前の撥音は m で表記されるが、ハイフンで分けられている場合は、gun-bo (ごぼう。carrot の項) のように n で表記されることもある。

③ ng は、他に、man ning (万年。[mannin]。care の項)、djing aku (善悪。[d3inʔaku]。censor の項)、djing ya (陣屋。[d3inja]。camp の項) などがある。ng は、語末 (ベッテルハイムは、漢字の熟語の場合個々の漢字を語とみなしている) にあって、撥音を写している。kan dang (間断。Ch. の項) のように語末にあって ng と表記されている単語でも、kan-dan-shung (間断する。intermit の項) のように複合語となって語中に来ると n と表記されている。

④ now は、他に now (しかしながら。なおに対応。however の項)、nowchi (直き。veracious の項)、nowri (名折れ。disgarce の項) がある。[nau] を表記したものと考えられる。文語的な文脈で使われたのであろう。

⑤ 「見る」は現在は [nu:N] である。「昨日」は chinyū と chinū の 2 つの形が記載されている (yesterday の項)。

⑥ nye は、他に chinyé (家庭。familiar の項) があるぐらいで、稀である。

## (18) o

『要綱』に「o は、open の o のように発音する。」とある。

o	ódji	[ʔo:3i]	扇	fan
omi	omi	[ʔumi]	海	sea

① ó は、他に ó (応答の語。yes の項) がある。

② o で、[ʔu] を表わしたと考えられる例は、他に omi (臃。首里方言 [ʔumi]。sup-purate の項)、omi ndjáshuru (思い出す。[ʔumiʔnd3aʃuru]。whenever の項)、obayung (奪

う。推定音 [ʔubajun]。deprive の項) などがある。

(19) p

pa	pāpā	[pa:pa:]	祖母	grandmother
pe	pétching	[pe:tʃin]	親雲上(位の名)	rank
pi	ping ang	[pinan]	平安	repose
pī	píapía	[pijapija]	ビヨ ビヨ	twittering
po	póli	[po:ri]	ガラス	glass
pu	pung	[pun]	本(接尾辞)	Ch.
pp	ipping	[ʔippin]	一篇	chapter

- ① pāpā は pápá とともに表記している (mama の項)。
- ② ping-ang は中国音。空手の型の名としては、今日でも使われている。
- ③ póli は「玻璃」の中国音であろう。
- ④ pp は、/qp/ を表わしている。

(20) q

qa	quantun	[kwantun]	広東	virtuals
----	---------	-----------	----	----------

- ① 「広東」は、kwandun とともに表記している (Canton の項)。

(21) r

『要綱』に「d・l・r は、琉球人の発音では交替が可能である。しかし、いくつかの単語においては、これら3個の音のどれかが強固に保たれている。」とある。また、Ch. の r の見出しに「r=l=d」とある。

ra	ráku	[raku]	楽	enjoyment
re	fitsiré	[ʔitsire:]	へつらい	slander
ri	rīdji	[ri:dʒi]	礼儀	rite
rī	káriushi	[karijuʃi]	佳例吉	Ch.
ro	ró	[ro:]	ろうそく	candle
ru	ruku	[ruku]	六	six

① rī は、他に chibarīó (頑張れよ。[tʃibarijo:]。persevere の項)、shizumatóríó (静かにしておけ。[ʃizumato:rijo:]。hark の項)、nagariung (流れる。[nagarijun]。flow の項)、mmariung (生まれる。[mmarijun]。generate の項) などがある。[rij] を表わしている。

- ② rya や ryo や ryu の例は見当たらない。

(22) s

s'	s' tu	[sutu]	外	out
----	-------	--------	---	-----

s	stchi	[sitʃi]	好き	liking
sa	sabatchi	[sabatʃi]	櫛	comb
se	sévé	[se:we:]	幸い	happiness
si	siba	[siba]	舌	lip
sī	sīung	[sijun]	擦る	friction
so	sō	[so:]	竿	bamboo
su	sūdū	[sudi]	袖	ruffle
sū	sūnéyung	[sune:jun]	練り歩く	procession

① 単独の s' や s は、他に s'ku (底。[suku]。lowermost の項)、mán's'ku (満足。[man-suku]。unsatisfactory の項)、stchima (隙間。[sitʃima]。vacancy の項)、skuyúng (救う。[sukujun]。save の項)、skashung (なだめる。[sikaʃun]。nurse の項)、stchung (好く。[sitʃun]。relish の項)、st'ung (捨てる。[sitijun]。abandon の項) などがある。単独の s' や s は、[su] あるいは [si] の母音の無声を表わしている。

② sī は、他に ching sīā gī (着物を擦る木。mangle の項)、han sīā (印刷者。[hansija]。printer の項) などがある。

③ sū の例はごく稀である。[u] の発音は、唇の丸みがないということを表記したものであろう。

④ sya や syo や syu の表記は見当らない。

### (23) sh

sh	shkin	[ʃikin]	世間	world
sh'	sh'ku	[ʃuku]	職	office
sha	sha	[ʃa:]	紗	gauze
she	shéng	[ʃe:N]	してある	nice
shi	shirú	[ʃiru:]	白	white
shī	shīó	[ʃijo:]	仕様	contrivance
sho	shógótsi	[ʃo:go:tsi]	正月	January
shu	shū	[ʃu:]	潮	tide
sh'sh	tashshūng	[taʃʃijun]	達する	communicate

① sh' は、他に sh'pó (四方。around の項)、sh'kakūng (仕掛ける。broach の項)、sh'té (肢体。extremities の項)、sh'tchimung (敷物。mat の項) などがある。Ch. の sh' の所で、「u または i があるものと解すべきである。迅速に強く発音されるので、母音は明確でないが、時には音節を構成する。」とある。[ʃu] あるいは [ʃi] の母音の無声音を写しているのである。

② 単独の sh と sh' は、同じ音を表わしている。

③ shsh は、他に úshsha (嬉しい。首里方言 [ʔuʃʃa]。pleasure の項)、tashshi (達し。首里方言 [taʃʃi]。statement の項)、máshshīra (真っ白。首里方言 [maʃʃi:ra]。gray の項) の

ように、首里方言の〔ʃ〕に対応しているが、まれに、tashshika (確か。首里方言〔taʃika〕。open の項)、kushshati (腰当て。首里方言〔kuʃati〕。recline の項。なお、rely の項では kushati とある)、ishshatu (かまきり。首里方言〔ʃiʃatu:〕。spider の項。なお、mantis の項では ishatu とある) のように対応していない例がある。

## (24) ʃ

『要綱』に「s は常に破擦音を表わし、silver のように発音される。それを強めるために ss を用いる」とある。

ssa	kussa	[kusa]	草	grass
ssa	kissa	[kissa]	以前に	aforetime
sse	jassé	[jase:]	野菜	plant
ssi	gussiku	[gusiku]	城	capital
ssi	mássiġu	[massi:gu]	まっすぐ	upright
ssī	yussiġung	[jusijun]	寄せる	approach
sso	sussó	[suso:]	粗相	husband
ssu	kussuí	[kusui]	薬	medicine
ssu	íssuku	[ʔissuku]	一足	set

① ss は、その他 fissang (薄い。首里方言〔issan〕。thin の項) などがある。/s/ を表わす場合や、/qs/ を表わす場合がある。

## (25) t

ta	tā	[ta:]	田	field
te	té	[te:]	たいまつ	flambeau
ti	tí	[ti:]	手	hand
tī	abiātīā	[ʔabija:ti:ja:]	騒ぐさま	hurlyburly
to	stomiti	[sutumiti]	早朝	day
to	tóshin	[to:ʃin]	唐船	junk
tow	towchi	[tautʃi]	闘鶏	game-cock
tu	tuī	[tui]	鳥	bird
tya	shtya	[ʃitʃa]	下	under
tyi	sinavatyi	[sinawatʃi]	すなわち	forbid
tt-	uttaī	[ʔuttai]	訴え	litigataion
tt-	uttagwa	[ʔutagwa:]	小歌曲	ditty

① m の前の、短音節の to は、他に、tstomi (勤め。努め。首里方言〔tsitumi〕。industrious の項) があり、[tu] を表わしているようである。

② tya は、他に shtya (舌。首里方言〔ʃitʃa〕。tongue の項)、shtyă -dán (タマキビ貝。



しただみに対応。首里方言 [ʒitʃadan]。periwinkle の項) などがある。tyi の表記は表の例のみである。

③ tyu、tyo の例は今のところ見当たらない。tye は satyé naráng (知覚できない。im-perceptible の項) が唯一の例であるが、satuye narang (知覚できない。tradition の項) からして、u が脱落したものであろう。

④ tt- は、mattakī (全部。首里方言 [mattaki:]。whole の項)。sáttimu (さても。首里方言 [sattimu]。oh の項) のように /qt/ を表わしているが、tatti sidji (縦筋。[tatisiʒi]。perpendicular の項) のように /t/ を表わしている場合もある。

## (26) tc/ts/tz

『要綱』に「tc 《e・i の前で》、及び tz は、ts の代わりにこの両方を用いた場合があるかもしれない。」とある。

ts'	ts' chāyung	[tsitʃa:jun]	突き合う	collision
ts	tstchi	[tstʃi]	月	moon
tša	shutsae	[ʃu:tsae]	秀才	graduate
tse	tséyung	[tse:jun]	跳ねて歩く	step
tsi	tsiru	[tsiru]	弦	chord
tsī	tsīu	[tsiju]	露	dew
tso	tsōdjiung	[tso:ʒijun]	通ずる	comprehend
tsu	tsū-shū	[tsu:ʃu]	通書	almanac
tzi	tītzi	[ti:tzi]	一つ	age
tts-	áttsa	[ʔattsa]	あいた!	oh

① tci、tce の確かな例は見当たらない。

② 単独の ts' や ts は、他に chu ts'ka (1 束。[tʃutsika]。sheaf の項)、umi ts' tchārū (思いついた。[ʔumitsitʃaru]。recollect の項)、tska (塚。[tsjka]。tomb の項)、tstchung (突く。[tsitʃun]。strike の項) などがある。単独の ts' や ts は、[tsi] の母音の無声を表わしている。

③ tša は、他に tsira tātsā (二枚舌。「顔 2 つあ」に対応。[ta:tʃa:]。首里方言は [ta:tʃa:]。double-dealer の項)、tsāgi (松。[tsa:gi]。中国音であろう。fir の項)、tsá (査。[tsa:]。中国音であろう。Ch. の項) などがある。

④ tse は、他に tsé (菜。[tse:]。中国音であろう。Ch. の項) があるぐらいである。

⑤ tsī はこの他 ī ũ tsīā (漁師。「魚釣りや」に対応。[ʔijutsija:]。fisherman の項)、tsīuku (強く。文語的。chūku も記載されている。[tsijuku]。fast の項) などがある。[tsij] を表わしている。

⑥ tzi はこの他 atzimīung (集める。accumulate の項)、nitzi byo (熱病。acute の項)、djitzinyi (実に。affection の項) などがある。[ts] を表記している。なお、tze の例は見当たらない。

⑦ tts- は /qts/ を表わしている。

### (27) tch

『要綱』に、「ch は、英語の ch のように発音される。その音を強めるために、しばしば tch を用いる。」とある。

tch	tchké	[tʃike:]	誓い	engagement
tch'	fúтч'ku	[futtʃiku]	北極	elevation
tcha	kắtcha	[katʃa]	蚊帳	curtain
tche	fitchéru	[fitʃe:ru]	引いてある	tangent
tchi	mitchi	[mitʃi]	道	way
tchu	tátchung	[tatʃun]	立つ	wave
tcho	nyitchóng	[nitʃo:N]	似ている	somewhat
ttch-	mǐttcha	[mittʃa]	3 日	day
ttch-	ittchunasháng	[ʔitʃunaʃan]	忙しい	pother

(1) tch と tch' は、狭母音 i や u の無声音、あるいは脱落音を表記している。

(2) ttch- は他に mittchái (3 人。首里方言 [mittʃai]。pass の項)、mattchóng (待っている。首里方言 [mattʃo:N]。pause の項)。ittchóng (入っている。首里方言 [ʔittʃo:N]。penetrate の項)、ittchuta (しばらく。首里方言 [ʔitʃuta]。second の項) などがある。/qc/ を写したり /c/ を写したりしている。

### (28) u

『要綱』に「u は英語の oo の綴りで表わすような音」とある。

u	ukuné	[ʔukune:]	行い	conduct
uu	ũ mizzi	[ʔu:umizi]	洪水	flood

(1) uu は、その他 ũũ-ku bukasang (奥深い。abustruse の項)、ũũ kazi (台風。typhoon の項)、ũũyadji (公。public の項)、ũũmuni (概略。summary) などがある。表記通りだと [ʔu:u] を表記したものとなるが、音韻としては /ʔu:/ であろうか。

(2) uwó (雄黄。orpiment の項) は、なぜ juwó ([juwo:]) でないのかなど、疑問点がある。

### (29) v

Ch. の見出しに「w=v」と書かれていて、v の項目はない。v と w は同じ音を表記している。(w の所参照。)

va	vang	[wan]	私	I
ve	véka	[ʔwe:ka]	一族	tribe
vi	vinago	[winago]	女	convent
vĩ	vĩung	[ʔwi:jun]	成長する	grow

vo	vólé	[wo:re:]	往来	go
vo	vorabi	[warabi]	童	babe
vu	vúkasha	[ukaʃa]	おかしい	laughable

① 語頭の *va* は、他に *vātā* (腹。首里方言 [wata]。bowels の項)、*va-gvā* (豚。首里方言 [ʔwa:gwa:]。porker の項) と表記していて、首里方言では区別のある語頭の [wa] と [ʔwa] の区別がない。

② *ve* は、他に *venda* (柔和な。首里方言 [ʔwenda]。meek の項)、*véka* (親戚。首里方言 [ʔwe:ka]。ethical の項)、*vé-ru* (賄賂。[ʔwe:ru]。bribe の項)、*vezikiung* (権能を与える。現在の首里方言では「押しつける」の意。首里方言 [ʔwe:ʒikijun]。empower の項)、*sévé* (幸い。首里方言 [se:we:]。bliss の項) などの例がある。首里方言では区別のある語頭の [we] と [ʔwe] の区別がない。

③ *vi* は、他に *vigo'sang* (痒い。首里方言 [wi:go:san]。prurigo の項)、*vīusi* (酔うこと。首里方言 [wi:jusi]。gradual の項)、*vī* (上。首里方言 [ʔwi:]。heaven の項) などの例がある。首里方言では区別のある [wi] と [ʔwi] の区別がない。

④ *vī* は、他に *síviung* (皮膚が厚くなる。首里方言 [si:ʔwi:jun]。harden の項)、*tákkviung* (皮膚がくずれる。[takkwijun]。scale の項) などがある。

⑤ *vo* は、他に *vó* (王。首里方言 [o:]。monarch の項)、*yū vo* (硫黄。[juwo:]。brimstone の項)、*vóvó* (嘔吐する時の擬態語。[wo:wo:]。retch の項) などがある。[o] と [wo] を表記している。

⑥ *vo* で [wa] を表記したかと考えられる例は、他に *vorayung* (笑う。[warajun]。deride の項)、*vorabíngī* (した。[warabingi]。fern の項) などがある。

⑦ *vu* は、他に *vūdjiung* (応じる。首里方言 [u:ʒijun]。accomodate の項)、*vuganyung* (拌む。首里方言 [uganun]。adore の項)、*vundji* (恩義。首里方言 [undʒi]。favour の項)、*avui* (タチアオイ。holly-hock の項) などがある。[u] を表記している。

### (30) w

『要綱』に「*a・i* の前の *w* は幾分 *ova・ovi* のように発音されなければならない。喉音はほとんど聞きとれなり。」とある。*w* と *v* は同じ音を表記している。(v の項参照。)

w	kow	[kau]	顔	complexion
wa	waífū	[waiʔu:]	割符	tally
we	wéka	[ʔwe:ka]	一族	kindred
wi	wí	[wi:]	柄	helve
wo	wó	[o:]	王	king
wu	wúttu	[uttu]	夫	husband

① 語頭の *wa* は、この他 *wābi* (上辺。首里方言 [ʔwa:bi]。top の項) と表記していて、首里方言では区別のある [wa] と [ʔwa] の区別をしていない。

② we は、この他 wéki (金持ち。首里方言 [ʔwe:ki:]. rich の項)、wédaí (王城の勤務。首里方言 [ʔweedai]、recess の項)、wéku (權。首里方言 [ʔwe:ku]。oar の項)、wénchu (ねずみ。首里方言 [ʔwentʃu]。mouse の項) などがある。ちなみに、『沖繩語辞典』には、語頭の [we] は [we:we:] (おいおい。わあわあ。声をあげて泣くさま。) しかない。『英琉辞書』には、この語が見当らず、[ʔwe] と [we] の区別をしているかどうか不明である。

③ wi は、この他 wīru (紐。首里方言 [wi:ru:]. string の項)、wickiga (男。首里方言 [wikiga]。man の項)、winago (女。首里方言 [winago]。womon の項)、wīung (酔う。首里方言 [wi:jun]。inebriate の項)、wī (上。首里方言 [ʔwi:]. top の項)、wīdjung (泳ぐ。首里方言 [ʔwi:dʒun]。swim の項)、wīung (植える。首里方言 [ʔwi:jun]。plant の項) などの例がある。首里方言では区別のある [wi] と [ʔwi] の区別をしていないようである。

④ wo は、この他 wólé (往来。首里方言 [o:re:]. Ch. の章)、wó kwang (往還。[o:kwang]。Ch. の章)、wó (王。首里方言 [o:]. king の項)、wófi (王妃。首里方言 [o:hwi]。Ch. の章) などがある。wo は [o] を表記している。(o の項参照。)

⑤ wu は、この他 wūyung (折る。[u:jun]。crease の項)、wūduí (雄鶏。首里方言 [u:dui]。cock の項)、wūki (桶。首里方言 [u:ki]。tub の項) などの例がある。wu は [u] を表記している。(u の項参照。)

### (31) x

x の使用例は見当たらない。

### (32) y

yā	yā	[ja:]	家	home
yǎ	yǎ	[ʔja]	君	enemy
ye	yédja	[ʔie:ʒa]	間	interval
yi	yī	[ji:]	絵	drowning
yo	yósang	[jo:san]	弱い	weak
yu	yū	[ju:]	湯	boiling water
yū	yǎí	[jui]	故	about

①「君」を、abide や affair などの項では yǎ と表記している。一方、act や before などの項では、ya と表記している。been の項では初めの例には yǎ と表記し、後の例には ya と表記している。また、『要綱』の「日本語の文字について」の項に「y の前の ī は (ī は = と略記され) 'y とされる場合もあるが、(中略) 非常に弱い、かすかに知覚される喉音を表わす。」とあり、「名詞」の項の例文中に 'ya とあり、その注に「yā は家で、yǎ[正確には īya] は君。」とある。

② ye は、他に yé (間。首里方言 [ʔe:]. while の項)、yédju (仲間。首里方言 [ʔe:ʒu:]. fellow の項)、yé iru (藍色。首里方言 [ʔe:iru]。blue の項)、yésātsi (挨拶。首里方言

[ʔe:satsi]。greet の項)、yéyung (膿が出る。首里方言 [ʔe:jun]。break の項) などがある。yé は [ʔe:] を表記している。

③ yi は、他に yī (良い。首里方言 [i:]。good の項)、yī (亥。首里方言 [i:]。cycle の項)、yīta (貰った。首里方言 [i:ta]。beggar の項)、yī (椅子。首里方言 [i:]。chair の項)、yīng (縁。首里方言 [in]。veranda の項)、yinsanā (同量ずつ。首里方言 [insana]。part の項) などがある。yi は [i] を表記している。

④ yū は、他に yū īshu (由緒。tradition の項) があるが、ごく稀な例である。

### (33) z

Ch. の z の見出しに「z = dz」と書かれている。また ze の項に「zé=dzé」とある。「蚩」は、zin-zing と表記した例も (glow worm の項)、zindzing と表記した例もある (firefly の項)。次の用例を見ても、z と dz は同じ音韻であるといえる。

za	zā	[za:]	座	room
ze	zésang	[ze:san]	財産	Ch.
zi	zí	[zi:]	図	drawing
zī	yuziung	[juzijun]	譲る	yield
zo	zó-fu	[zo:ɸu]	臓腑	viscera
zu	zŭku	[zuku]	俗	custom
zz-	mizzi	[mizi]	水	water

① zi は、他に、soba zíke (侍女。首里方言。wait の項)、tsini-zini (常々。always の項)、fi-ziki (日付、date の項)、aka zira (赤ら顔。flush の項)、fiū zing (日傭錢。wages の項)、sǎn zǐn nyínnū (三千人の。about の項) などがある。zi は [zi] を表記している。

② zz は、他に mizzi (水。首里方言 [mizi]。water の項)、mízzu (溝。gutter の項)、miz-zikará (自ら。[mizikara]。itself の項)、ishinizzimi (兎。「石ねずみ」に対応。rabbit の項) などがある。ss と同様に、撥音を表わしていない。[zi] を表記している。

### 〔付記〕

この拙論を書くにあたって、喜名朝昭・伊波和正・森 庸夫・高橋俊三で進めている『翻訳英琉辞書』の下書き原稿（特に、伊波氏による所が大変多い）を利用させて頂いた。感謝申し上げます。